

令和 5 年度オール東京 62 環境担当者研修業務

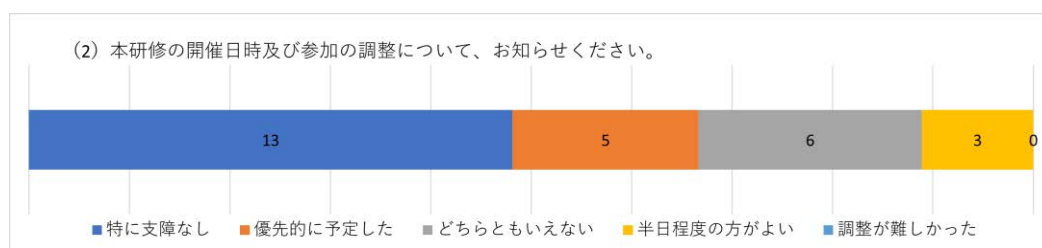
第 1 回環境担当者研修会 アンケート結果の共有

【設問 1】本研修全体についておうかがいします。

(1) 本研修はオール東京 62 環境担当者向け研修会として必要性を感じるものでしたか？



(2) 本研修の開催日時及び参加の調整について、お知らせください。



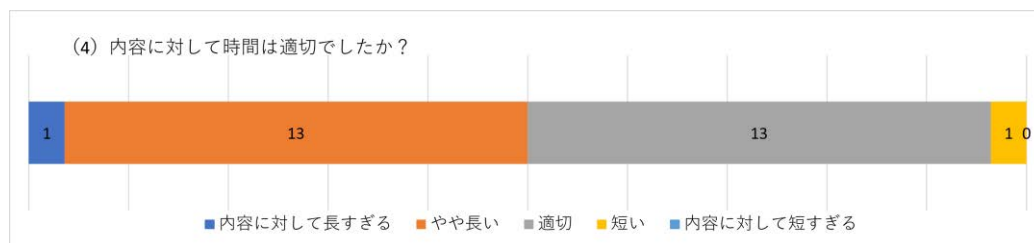
(3) 研修を受けてやるべきことが明確になりましたか？



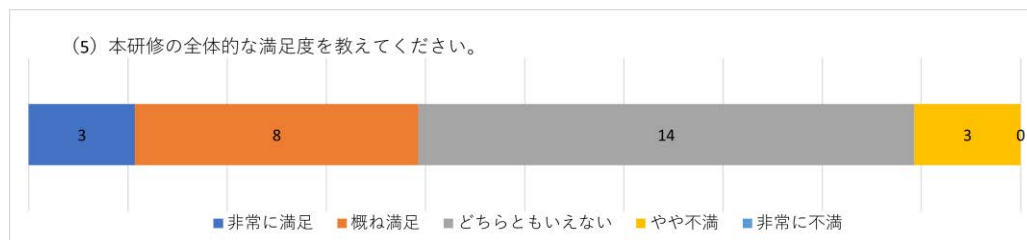
(3) についてコメントがあればお願いします

・ 規制等の類型化にあてはめながら規制等を検討したいと思いました。
・ 今回は環境に関する概要が主でしたので、知識として役立たせていただきます。
・ 環境法の歴史や環境対策の概要は理解できましたが、実務には繋がりにくい内容でした。
・ 今回の研修は、環境関連の法律の成り立ちがメインでしたので、業務の具体的なイメージはつきにくかったです。
・ 計画を作成する担当者にとっては、有意義な内容であった。
・ 歴史的背景を丁寧に伝えていただけて勉強になりましたが、今現在生じている問題をより具体的にご教授いただきました。
・ 講義の趣旨が環境法等の体系を理解するもので、何かアクションを起こすことが目的とは思えないため。
・ 概念的な話であったので（それはそれで役に立ちました）
・ 本研修は基礎的な知識を得るものであったので、具体的な行動につなげるところまでは難しいと感じた。環境行政についての背景や基礎的な知識を得るのには役立った。
・ 温暖化対策については法制度の制約は少ないと感じました

(4) 内容に対して時間は適切でしたか？



(5) 本研修の全体的な満足度を教えてください。



(5) についてコメントがあればお願いします

・ グループに分かれて話をすることが前もってわかっていれば、そのように対応された市町村もあったかと思えます。
・ 環境関連の法令や自治体の役割・事務など、環境行政について幅広く学ぶことができ良かったです。
・ 法律の成り立ちなどは、毎年変わらない内容なので、動画配信でよいのではと感じました。
・ 一昨年のアーカイブを見てから受講しました。重複した内容を、オンタイムで受けることには抵抗がありました。
・ 体系的な内容なので仕方ないかもしれませんが、環境政策部門では公害についてやっていない人も多いので、聞き慣れないキーワードが数多く出現していたことと思います。政策と公害は分けて研修を行った方が、参加者も戸惑いが少ないように思います。
・ 社会情勢を反映した法の趣旨がよく理解できた。
・ 自身の勉強不足ですが、知識が足りないためピンとこないところが多々ありました。
・ 急にグループワークが始まったので、とても戸惑いました。 予めご案内がなかったので、WEB カメラの準備等ができませんでした。
・ 苦情対応に係る業務が多いので、事例紹介等があるとより良かった。

(6) 研修の中で一番印象に残っている内容は何ですか？

・ 環境法の歴史について。
・ 研修最後の補助金の説明です。役立たせていただきます。
・ 環境省の重点施策・予算情報
・ 補助制度
・ 環境省の予算スケジュールと施策内容の確認について
・ 環境関連法の成り立ちについて体験的に学べたこと。
・ 質問させていただいた表彰制度について。当区も温暖化配慮行動に取り組む事業所を表彰することで協力を促しているため。
・ 環境問題のあらまし
・ 環境法の歴史について、大気汚染で洗濯物が真っ黒だったことや、イタイイタイ病が「怠け病である」と責められていたという話が印象に残っています。
・ 環境問題の変遷（知識の整理になった）
・ 環境保全が環境行政の嚆矢であり、経済活動との調整が常に課題となっていること。
・ アーカイブで復習したいと思います。
・ 地球温暖化と気候変動について
・ 気候変動適応と地球温暖化が整理できた
・ 直接規制的手法の環境基準に関する説明
・ 講義 2 後半の環境施策について

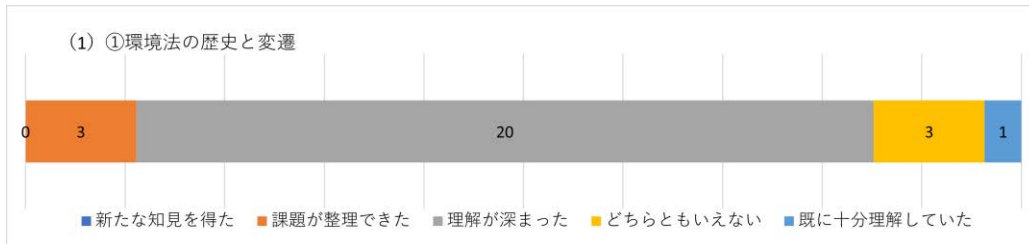
【設問2】各セッションについておうかがいします。

第一部 講義「環境法の歴史と概要」

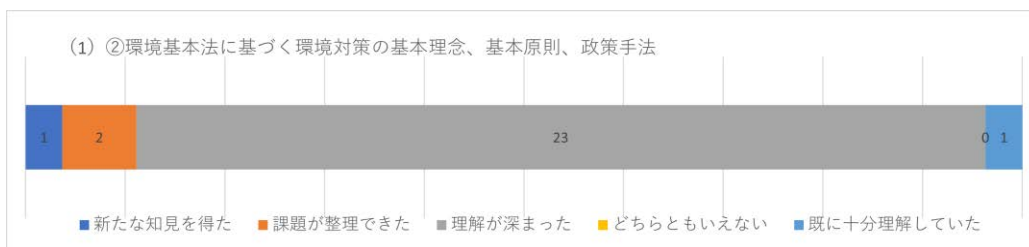
出席	34 名
欠席	3 名
未回答	5 名

(1) 講義内容に対する印象としてもっとも近い項目を選んでご回答ください。

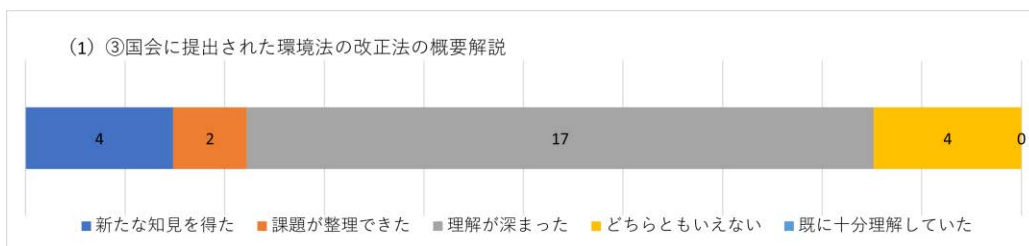
①環境法の歴史と変遷



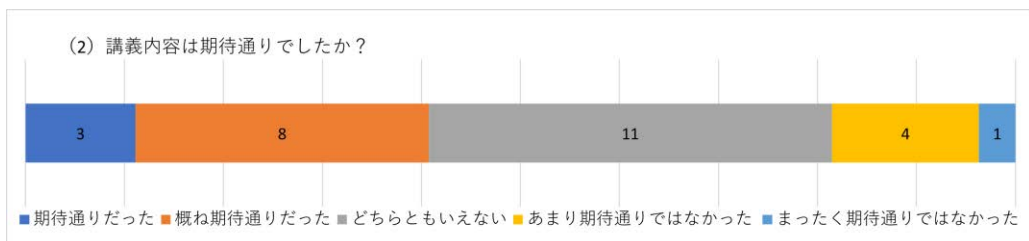
②環境基本法に基づく環境対策の基本理念、基本原則、政策手法



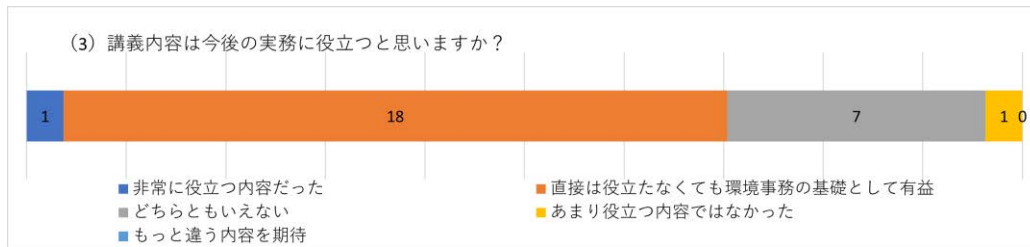
③国会に提出された環境法の改正法の概要解説



(2) 講義内容は期待通りでしたか？



(3) 講義内容は今後の実務に役立つと思いますか？



実務に役立てるための研修内容について、コメントがあればお願いします

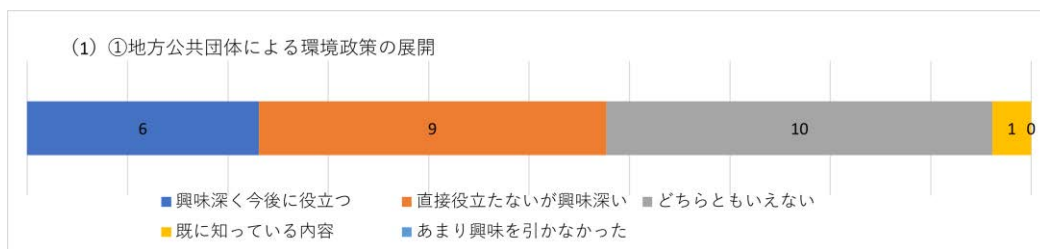
- ・ 自分が担当している業務とは少し研修内容が異なりました。
- ・ 新任研修ではあるので、専門過ぎても困りますが、もうすこし踏み込んだ内容が伺いたかったです。

第二部 講義2「環境対策における地方公共団体の役割」

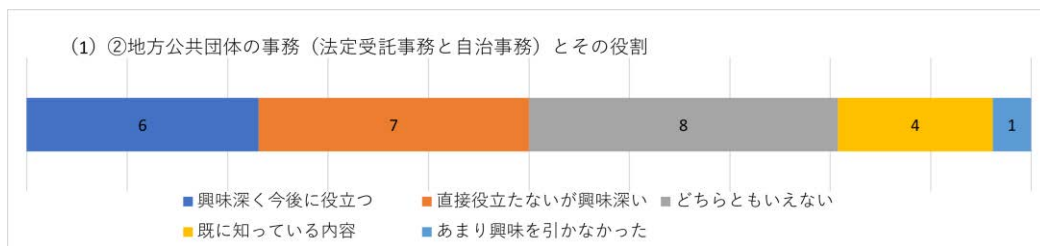
出席	33 名
欠席	3 名
未回答	6 名

(1) 講義内容に対する印象としてもっとも近い項目を選んでご回答ください。

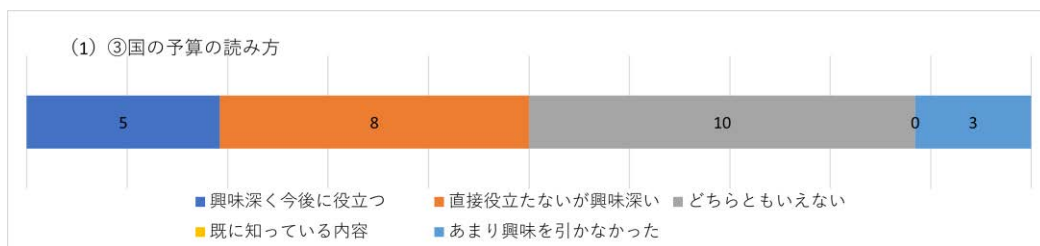
①地方公共団体による環境政策の展開



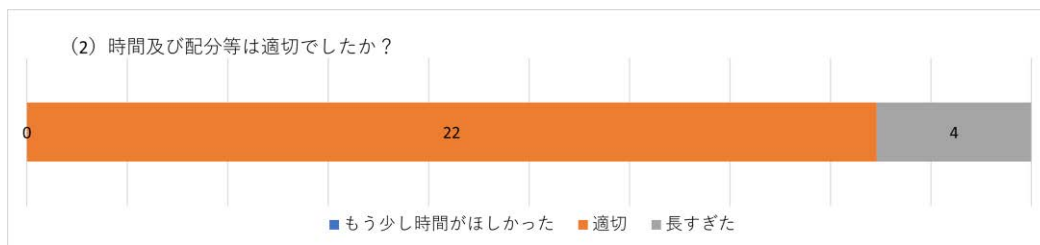
②地方公共団体の事務（法定受託事務と自治事務）とその役割



③国の予算の読み方



(2) 時間及び配分等は適切でしたか？



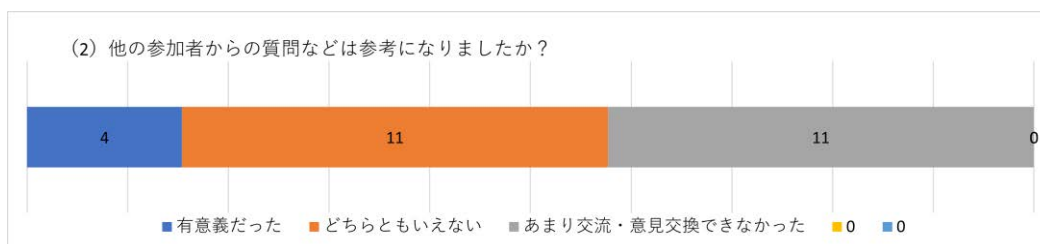
質疑応答・ふりかえりについて

出席	32 名
欠席	4 名
未回答	6 名

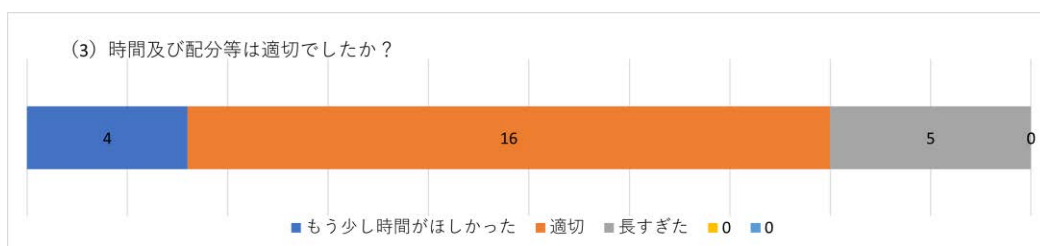
(1) 質疑応答・ふりかえりを通して講義内容の理解度は深まりましたか？



(2) 他の参加者からの質問などは参考になりましたか？

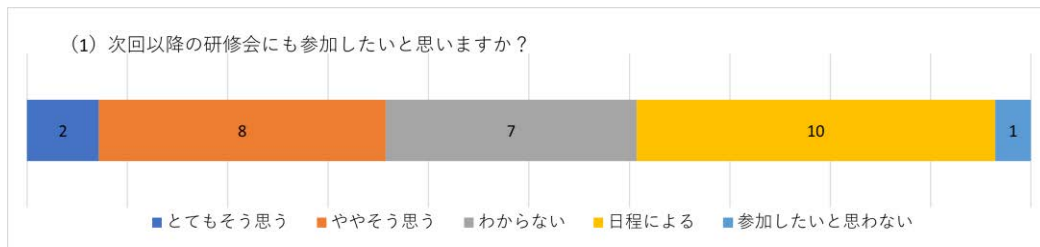


(3) 時間及び配分等は適切でしたか？



【設問 3】 今後の研修についておうかがいします。

(1) 次回以降の研修会にも参加したいと思いますか？



(2) 今回の研修会の良かった点、または改善点など、自由にお書きください。

・ 環境について、幅広い話を聞けて良かった。
・ これまでの歴史がわかって良かったです。
・ 質疑応答・ふりかえりで他市町村の方と意見交換をしましたが、意見交換があることを知らず、話のできない方が多かったように思われます。前もって話をいただければ状況が変わったのかと思います。
・ 環境全般の事柄に対して知見を広げられた有意義な研修でした。
・ 午前中の講義においては、急遽業務が入ってしまい途中までの受講となってしまいましたが、普段、業務では学ぶことのできない環境の歴史についても深く学ぶことができ良かったと思います。
・ グループワークでは、チャットのみで参加したため意見交換に時間がかかる場面もありましたが、他の自治体の環境担当の方々と交流できた点は良かったです。
・ 内容次第で参加を希望します。参加希望調査の前に内容がわかるとありがたいです。
・ 所属のネット端末や受講スペースに限りがあるので、zoom を使用した意見交換の実施は難しかったです。オンラインによる研修は複数人で拝聴する人が多いので、講義型の方が受講しやすいです。
・ 質疑応答のためのグループワークが唐突すぎたため、全体的に時間を有効活用できていないように感じた。特に、カメラやマイクは事前準備を要する自治体も多く、当時他の自治体の方が（参加していることになっているものの）実際に参加しているか否かも明らかでなかった。自己紹介や話し合う内容も、移動後はパワーポイントを確認することもできなかったので混乱した。終了時刻が伸びてしまった件も、その後の業務に支障が出たので改善すべきだと思います。 また、代表者がまとめて参加票を送付したためか、資料の案内のメールが届いていない職員が数名いました。ぜひ参加者全員に送っていただくか、代表者のみに送付している注意書きをいただけたらうれしいです。
・ このような機会を作っていただきありがとうございました。 研修1回目のため今回の内容は基本的なものでしたが、環境事務は幅広いため、個別事業ごとに研修があると、担当者ごとに出席することができ職務に役立つと思います。
・ グループでの話し合いの時間を設けるのであれば、事前にマイク・カメラの準備について説明しておくスムーズだと思った。
・ ○ブレイクアウトルームでの意見交換について事前告知がされていなかったため、カメラやマイクの準備がない自治体もあり、意見交換についてはあまりできなかった。予めお知らせいただけるとよいと思います。 ○講義資料が文字情報が非常に多く、新人にはイメージが湧きにくかったようです。写真なども入れていただくとより理解が深まると思います。 ○午前・午後で講師を変えていただけるとよかったです。 ○アンケートですので、所属・記名は今回は書きますが、なくしていただけるとよいです。オンライン形式でのアンケートについてご検討をお願いします。
・ ・環境行政の基となる歴史的な出来事や法体系の流れを把握し、自分の所管する部署の位置づけを大枠で捉えることができ、たいへん有意義でした。具体には、自分の所属が環境保全課であり、地球温暖化対策・脱炭素化が主要課題となる中で、環境保全が環境分野の基本・基盤であることがよく理解できました。 ・改善点としては、オンライン研修での参加者同士のグループワークは、同じ班の全員が ZOOM に不慣れなため、意見交換すらできない状況でした。もう少し簡易な方法を望みます。 ・質問ですが、地方自治体の所管範囲を超えるかもしれませんが、環境保全として被害者への補償に関して、体系的な流れがあるのか教えていただけますでしょうか。おそらく、汚染者負担の原則を軸としているものと思いますが、国や地方自治体がどこまでかわるのかについて方向性を知りたいと考えております。現在、アスベスト物件の解体・改修に伴う飛散防止対策の事務が繁忙期を迎えており、今後、補償のあり方が課題となるのかどうか気がかりです。

・ 質疑応答で強引に指名したり、事前に案内のないグループワークで困惑した状態で話し合いを始まったりするのは、あまり良いやり方ではなかったように思います。
・ チャットでの振り返りは難しかった
・ もう少し実務につながる内容を盛り込んでいただけたらと思います。
・ 歴史的な話でも、こういった背景があるから、日常的にどういった心構えで取り組むとよいなどアドバイスや具体的な事例があると分かりやすかったように思いました。
・ オンラインでのグループワークは、無理があると感じました。マイクがオフのままの方が大半で、他の人が考えているのか、黙っているのみなのかもわかりませんでした。
・ 環境部門に2年目で今回の研修を受講させていただいたため、復習の場とさせていただきました。1年目で受講していれば、体系的に学べる良い機会であると思います。
・ 事前に予定していない、班討議を取り入れたのが良くなかった。参加者が戸惑い、うまくコミュニケーションが取れず、予定時刻を過ぎてしまっていた。

(3) 本日の研修内容に限らず、環境担当として業務遂行上で困っていることなど、翌年度以降の研修テーマとして取り上げてほしいテーマ・トピックスなど、お書きください。

・ 環境基本計画や実施計画の策定方法について、また、計画を策定した後に広く市民に知ってもらう方法。
・ ボイ捨てや喫煙マナーなどの関係の業務が主になるので、生活環境という視点での研修もあるとありがたいです。
・ 業務の中で困っていることは、「野焼き」への対応です。畑などでの特例についてどのような場合は野焼きしてもよいのかなど、詳しくわからないので教えていただきたいです。
・ 今回の研修は抽象的なトピックが多かったので、次回以降は具体的な政策・取り組みについて学びたいと感じました。
・ 温室効果ガス削減に向けて、基礎自治体としての課題とその解決策についてお伺いしたいです。
・ PFASなどの新たな公害や、国際的な最新の環境問題について。
・ やはり具体的な対策に悩んでいます。お金がかかるもの、かからないもの含めて取り組めるアイデアが欲しいです。
・ 研修テーマに取り上げていただきたいのは、たばこの喫煙・ボイ捨ての規制についてです。住民からは全面禁煙を望む声が多くある中、健康増進法上、特定施設以外では受動喫煙への配慮が規定されるのみで、地方自治体として喫煙そのものをどこまで規制すべきか検討が必要になっています。自治体内を全区域・24時間、禁煙にすることも可能のようですが、条例上の罰則を設けるべきか、どの程度効果があるのか、全面禁煙の代わりに喫煙所を設置すべきか、そのことに伴って喫煙者が集まることへの対応（受動喫煙・ボイ捨て増加の懸念）をどうするかなど、これから検討したいと考えています。
・ どのように知識を深めていけばよいのか模索中です。研修資料やアーカイブを使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。
・ 生きものに関するトピックを取り上げていただきたいです。
・ 環境施策に係る根拠法と義務・努力義務等で策定が義務付けられている計画や取り組みの説明、国・都が実施している施策の網羅的な紹介、先進的な事例等の導入手法について等
・ 温暖化対策は科学的な性格の問題で、難しいので困っています。